

動産委托法/奥田義人(講義) ; 山口正毅(編輯)
(英吉利法律講義録(1886(明治 19)年度 第 1 年級))

このPDF ファイルは、英吉利法律講義録(1886(明治 19)年度 第 1 年級)(原裝本デジタル・データ)から、動産委托法の部分を抽出して編集したものである。

2015 年 7 月 中央大学大学史資料課

動産委託法

(ロー、オフ、ベールメント)

法學士 奥田義人講義

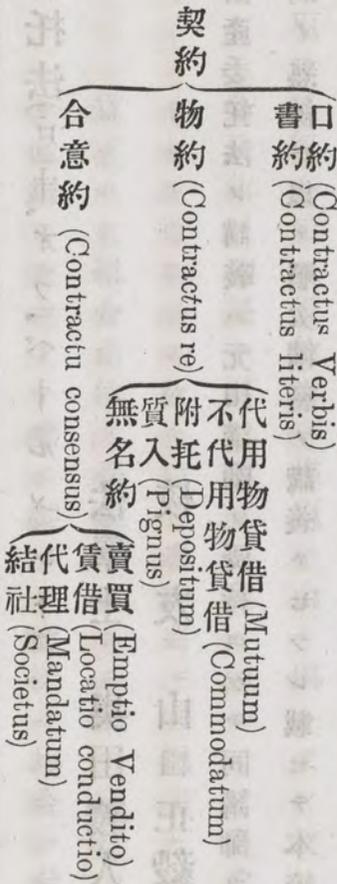
校友 山口正毅編輯

動産委託法ノ講義ハ元田講師ノ受持ニシテ同講師カ例ノ實際
 的ノ熟練ヲ以テ順次精密ノ講義ヲセラレ載セテ本校講義録ニ
 編入シ在ルガ故ニ諸君ハ皆ナ能ク該法ノ何タルコトヲ知ルヲ得ラレ
 タルヘキハ予ノ信シテ疑ハサル所ナレトモ本校教科ノ内ニテモ
 委託法ノ如キハ重要ナルモノ、一ナレハ反覆講義スルヲ要ス
 ニトシテ更ニ重テ予カ講義スルコト、ハナレリ然レトモ
 學年ノ殘期漸ク切迫ノ折柄故到底精密ノ講義ハ之レヲナスヲ
 得サルベシ諸君之レヲ諒セヨ

第一編 總論

第一章 動產委託ノ性質

今茲ニ動產委託ノ性質ヲ講スルニ當テ先ツ諸君ニ注意ヲ促スヘキ一事アリ抑モ動產委託ノコトタル其性質ヨリ之レヲ云ヘハ一種ノ契約タルニ過キカルヲ以テ契約中ニ之レヲ論スルモ敢テ差障ナキ譯ナレドモ英法ニテハ別ニ一種ノ題目トナシ居レリ蓋シ別ニ理由アルニアラズト雖モ其基ヒスル所ハ羅馬法ニ起レルコト明カナルコト是レナリ誰人モ既ニ了知セルカ如ク羅馬法ニ於テハ契約ヲ左ノ如ク類別セリ



右各種ノ契約中最モ通常ニシテ最モ早ク發達シタルモノナリ口約トス
 而シテ其口約ハ如何ナル方法ヲ以テ契約ノ効ヲ生セシメタリヤト云
 フニ結約者雙方カ一定ノ言語ヲ用テ問答スルノ方式ノ定マリタルモ
 ノアリテ其方式ニ從ヒ問答シタル後初メテ其効ヲ生セシムルコトヲ
 得タルナリ故ニ口約ヲ稱シテ問答約トモ云ヘリ書約トハ金錢支拂ヒ
 ノ契約ニシテ貸借ノ事柄ヲ帳簿ニ記載スルヲ其式トナセルモノナリ云
 ヒ物約トハ物品ノ授受ニ依リ契約ノ効ヲ生スルモノニシテ其義務ハ
 受取リタル物品ヲ返還スルニ在リ又合意約トハ結約者雙方ノ合意ノ
 ミアレハ直チニ契約ノ効ヲ生スルモノナリ云フナリ英ノ動產委托法ハ
 即チ羅馬法ノ物約ニ起源シタルモノナレト兩者稍々異ナル所アリテ
 羅馬法物約中ノ代用物貸借契約及ヒ無名約ノ如キハ英ノ動產委托法
 ニ於テハ之レヲ含蓄セスシテ却テ羅馬法合意約中ノ貸借約ノ如キハ

動產委託
ノ定義

^Bailor.
=Bailee.

之レヲ委託法中ニ論スル等彼是レ互ニ矛盾セルモノ、如シ之レニ因
 テ之レヲ觀レハ動產委託法ハ其基源羅馬法ニ在ルモ其趣向ニ至テハ
 稍々異ナル所アリト謂ツヘキナリ然ラハ則チ英法ニ所謂動產委託ト
 ハ何ソヤト云フニ此問ニ對スル答案ニ就テハ學者中種々論議多クシ
 テ未タ以テ確然一定ノ答案ヲ得スト雖モ要スルニ動產委託即チ「ベ
 ルメント」トハ或ル特殊ノ目的ヲ以テ物品ヲ保持シ其目的ヲ終ヘタル
 事又ハ約束期限ノ到達シタル時之レヲ返還スルカ若クハ第三者ニ授
 了スベキ明約或ハ默約ニ因リ一方ノ對手ヨリ他ノ一方ニ該物品ヲ引
 渡スコトヲ云フニ外ナラサルナリ而シテ其引渡チナス方ノ對手ヲ委
 托者ト稱シ其引渡チ受クル方ノ對手ヲ受托者ト稱ス例ヘハ余カ所有
 セル時計ヲ修繕セシムル爲メ之レヲ某時計師ニ引渡シタリトセンカ
 余ハ即チ委託者ニシテ某時計師ハ即チ受托者ナルヘシ而シテ其引渡

ノ目的ハ時計ノ修繕ニ在リテ受托者ナル時計師ハ其修繕ヲ終ヘ次第
之レヲ余ニ返還スルノ黙約ヲナシタルモノナリ又余ハ書籍若干ヲ積
濱ナル友人某ニ送ラント欲シ之レカ運送ノコトヲ通運會社ニ托シテ
該書籍ヲ引渡シタリトセンカ余ハ即チ受托者ニシテ通運會社ハ即チ
受托者ナルヘシ而シテ其引渡ノ目的ハ書籍ノ運送ニ在リテ受托者ナ
ル通運會社ハ其運送ヲ終ヘ次第之レヲ積濱ナル友人某即チ第三者ニ
授了スヘキ明約ヲナシタルモノナリ又余ハ友人某ヨリ三ヶ月間ノ約束ヲ
以テ金若干圓ヲ借用シ之レカ返濟ノ義務ヲ堅固ナラシムル爲メ余ノ所
有品ヲ抵當トシテ某ヘ附托シタリトセンカ余ハ同シク受托者ニシテ友
人某ハ受托者ナルヘシ故ニ余ニ於テ約束期限通り其負債ヲ償却シタル
キハ即チ某ハ其抵當品ヲ余ニ返還スルノ黙約ヲナシタルモノナリト
ス此等ノ諸例皆ナ是レ動產委托ニアラサルハナシ時ニ或ハ引渡ノ目

動產委託
ノ四要素

的ヲ達スルノ前受托者ニ於テ其物品ヲ保持スヘキ權ヲ失ヒ直チニ之
レヲ委託者ニ返還スルノ義務ヲ生スルコトナシトセスト雖モソハ委
托者ヨリ受托者ニ該物品ヲ引渡シタル元來ノ目的ニアラサレハ斯ル
場合ノ事柄ヲハ動產委託ノ定義中ニ含蓄セシムルヲ要セサルナリ
夫レ然リ而シテ右陳述シタル所ノ動產委託ノ定義及ヒ二三ノ引例等
ニ徴シテ之レヲ見ルモ動產委託ニハ左ノ四要素アルコト甚タ明カナ
ルヘシ

- 一、引渡アル事
- 二、其引渡ハ動產ノ引渡タル事
- 三、特殊ノ目的アル事
- 四、其目的ヲ終ヘタルハ又ハ約束期限ノ到達シタルハ其寄托品
ヲ委託者ニ返還スルカ若クハ第三者ニ授了スヘキ明約或ハ默

六

約アル事

抑モ委託ノ要ハ或ル特殊ノ目的ヲ以テ物品ヲ寄托スルニアルコトナレハ其引渡ヲ要スルコト勿論ナリ故ニ物品ノ引渡ニシテアラサル己上ハ委託成立セサルナリ而シテ又其引渡ハ通例委託者本人ヨリ受托者本人ニ之レヲナスト雖モ必スシモ双方本人ニアラサレハ其授受ヲナスヲ得スト云フニハアラズ代理人又ハ指圖人等ノ間ニ於テ授受ヲナスモ敢テ妨ケナシ只此場合ニ於テハ代理人又ハ指圖人タルノ意思明白ナルヲ要スルノミ又引渡ノ目的物件ハ動産ニ限レルコトハ動産委託法ト云フニ於テモ自カラ明瞭ナリト謂ハサルヘカラス而シテ其性質ノ有形タルト無形タルトハ敢テ之レヲ問ハサルナリ只茲ニ注意スヘキハ委託者ニ於テ必スシモ其寄托スヘキ物件ノ所有權ヲ有スルヲ要セサルコト是レナリ總テ動産ヲ寄托スルニハ委託者ニ於テ適法

ノ所持權サヘ有スレハ十分ナリトス語ヲ換ヘテ之レヲ云ヘハ所有權
 ナ有スルモノハ勿論單ニ特別權ナ有スルモノニテモ尙ホ委託者トナ
 ルコトヲ得ヘシ即チ遺失物ヲ拾ヒ取りタル者ノ如キ真正ノ所有主ニ
 對スル外ハ都テ世人一般ニ對シテ所持權ナ有スルカ故ニ該物品ヲ他
 人ニ委託スルコトヲ得ルナリ又假令ヒ不正ノ所爲ニ依テ得タル物品
 ニモ受託者ニ於テ其不正ノ所爲ニ關係セサルハ勿論其不正ノ所爲
 ニ依テ得タルモノナルコトヲ知ラズシテ之レガ委託ヲ受ケタルニ於
 テハ尙ホ對手双方ノ間ニ有効ノ委託アルモノトナスヘキナリ兼テ又
 動産委託ニ特殊ノ目的アルコトヲ要スル所以ハ其目的ノ如何ニ依テ
 對手双方ノ權利義務ヲ決定スヘケレハナリ其他該目的ヲ終ヘタルモ
 ハ其寄托物ヲ委託者ニ返還スルカ若クハ第三者ニ授了スヘキ明約或
 ハ黙約アルヲ要スルカ如キハ委託ノ性質ノ然ラシムル所ニシテ別ニ

動產委託ノ類別

説明スルヲ要セサルヘシ
右ハ則チ動產委託ノ性質ヲ略説シタルモノナルカ之レヨリシテ之レ
ヲ推セハ動產委託法ハ他人ニ属スル物品ノ所持權ヲ適法ニ得タル者
ノ權利及ヒ義務ヲ論ズルノ法律ニシテ犯權ニ依テ他人ノ物品ヲ得
タルモノ、如キハ此法ノ相關スル所ニアラザルコト知ルヘキナ
リ

第二章 動產委託ノ類別

動產委託ノ何タルコトハ前章ニ於テ畧々之レヲ説明シタルモソハ只
大体ノ性質ニ止マリテ敢テ餘事ニ涉ラサリシナリ故ニ此章ニハ前章
ニ説明シタル動產委託ニ數種ノ類別アルコトヲ講明スヘシ乃チ動產
委託ヲ類別セハ左ノ如シ

- ¹Gratuitous bailment for Bailor's sole benefit.
²Gratuitous bailment for Bailee's sole benefit.
³Bailment in which both Bailor and Bailee are mutually benefited.

動産委託

委託者ノミノ利益ノ爲メニスル委託
 受託者ノミノ利益ノ爲メニスル委託
 委託者及ヒ受託者双方ノ利益ノ爲メニスル委託

無償附托 (Depositum)
 無償加勞ノ委託 (Mutuum)
 無償使用 (Commodatum)
 質入 (Pledge or Pignus)
 有償委託 (Locatio or letting, or hiring for reward)

右ニ示セルガ如ク委託者ノミノ利益ノ爲メニスル委託ヲ分テ二種トナス一ハ則チ無償附托(デポジタム)ニシテ受託者ニ別ニ報酬ヲ與ヘズ單ニ保管ノ爲メニ物品ヲ寄托スルチ云フナリ他ノ一ハ則チ無償加勞ノ委託(ミユーチアム)ニシテ受託者ニ於テ別ニ報酬ヲ受ケス一ノ場所ヨリ他ノ場所ヘ物品運送ノ勞ヲ取ルカ又ハ功果ヲ加フル爲メ物品ヲ委託スルチ云ナリ此兩種ノ委託ニ於テハ受託者ハ委託者ヨリ報酬ヲ受ケスシテ偏ニ委託者ノ爲メノミニ物品ノ引渡ヲ受クルモノナレハ之レヲ總稱シテ委託者ノミノ利益ノ爲メニスル委託トハ云ヘリ又受託者ノミノ利益ノ爲メニスル委託トハ則チ無償使用(コムモデー

動産委託法/奥田義人(講義)；山口正毅(編輯)

(英吉利法律講義録 (1886 (明治 19) 年度 第 1 年級))

11 ページ以降の講義録 (37 号以降) は非所蔵